

療護施設自治会全国ネットワーク設立

準備会 ニュース No.4

年度も変わり、本来ならば予算案や活動計画を作らねばいけないのですが、事務局の力量不足から、未だに出来ていないのが現状です。現在の事務局だけでは、たとえ作ったとしても、不十分なものしか出来ないと思います。

そこで、**同封したアンケート**に皆さんのご協力をお願いし、ご意見など最大限取り入れた活動を行っていきたく思います。6月末日までに送っていただければ幸いです。

なお、**年会費**についてですが、昨年通り、

個人 1,000円

団体(自治会・サークル単位) 3,000円

のまま、いきたく思いますが、郵便料金の値上げなどにより支出の増加が予想されますので、1口でも多くのカンパをお願いします。

☆ 機関誌・会計についての、お問い合わせ先 ☆

Tel. 0424-93-3235 (代表) Fax. 0424-93-3234
〒204 東京都清瀬市竹丘3-1-72 清瀬療護園内 小田 一石まで

1993年度 活動報告

93. 5.15 療護施設利用者交流会を日野療護園にて開催し「療護施設自治会全国ネットワーク設立準備会」の発足を確保
- 6.16 第18回全療協大会(青森)の会場で、発足ご挨拶のビデオ配り。
- 9.18 第18回全障連大会施設分科会(天理)で、施設長アンケートの集計結果と自治会ネット準備会について報告
- 9.25 季刊「福祉労働」60号に「施設改革は当事者の手で!～『あたりまえの生活の場』の獲得に向かって動き出すとき」を発表(筆者・徳木)
10. 3 第5回自立生活問題研究全国集会(札幌)で経過報告
- 12.3~4 NHKラジオ「心身障害者とともに」取材(12月12日放送)
(日野療護園:石塚・徳木、丹沢レジデンシャルホーム:小峰)
- 12.11 《施設調査から人権ガイドラインを展望する》12・11集会参加
94. 1.19 埼玉県内の3療護施設を訪問(小田・麩沢)し、ネットへ参加呼びかけ

1993年度 会計報告

<p>収入</p> <p>会費および寄付金 115,000円</p> <p>雑収入(福祉労働原稿料) 4,000円</p> <p>収入合計 119,000円</p>	<p>支出</p> <p>文房具・消耗品費 10,340円</p> <p>切手・通信費 34,957円</p> <p>出張経費 25,889円</p> <p>ワープロ入力費 20,900円</p> <p>支出合計 92,086円</p>
<p>※ なお、会計監査は、わかこま自立生活情報室の米田裕美さんに、5月19日に行っていただきました。</p>	<p>94年度への繰越金 26,914円</p>

療護施設を選択して 天竜厚生会・厚生寮 水島秀俊

※ 以下の文章は、静岡県の療護施設利用者・水島秀俊さんが、療護に移る前に入所していた訓練施設に送った報告書をもとに、自治会活動について加筆して下さったものです。長文だったため、事務局の判断で、一部を割愛・再構成いたしました事をお断りしておきます。

天竜厚生会には、身障・精薄・老人等の12の施設があります。厚生寮もその中のひとつです。入所者は全体で約1000人、職員も約600人おり、大規模です。敷地も広大です。敷地内には12の施設の他に、研修センター・福祉工場・福祉住宅・グラウンド・公園・クリーニングセンター・給食センター・体育館・スーパーマーケット(2店)・喫茶店・医療センター等があります。路線バスも乗り入れており、天竜厚生会自体が、一つの小さな町といった感じですが。

浜松から車で40分ぐらい、周りは山に囲まれており、環境は良いです。

<厚生寮>

入所者は約100名。頸損・脊損・脳性マヒ・脳卒中・筋ジス・リウマチ・視力障害など色々な障害の人がいます。北寮と南寮とに分かれており、私は北寮にいます。寮母さんは各20名ずつ、年齢も20代から50代と幅広いです。看護婦さんは全体で5名います。事務室には、寮長・指導員など4名います。入所者の平均年齢は約53歳で、私は若いほうから2番目です。

<食事>

朝6時30分、昼12時、夕5時です。朝は菓子パンと牛乳です。昼夕は普通の食事です。出前は取れませんが、スーパーマーケットで好きな物を買ってきてオカズにできますので助かります。

つき いちど とくべつこんだて おい しょくじ で べつ たんじょう
月に一度、特別献立で、ふだんより美味しい食事が出ます。それとは別に誕生
かい とき き さしみていしょくてん じゅう
会があります。その時には決まったメニュー(刺身定食・天どん・うな重など)から
でまえ きぼう いんしゅ みな たの
出前をとってくれるし、希望すれば飲酒もできるので、皆、楽しみにしています。

〈入浴〉

しゅう ど か きん じぶん はい ひと つかいよく ごぜんちゅう
週に2度(火・金)あります。自分で入れない人は機械浴になります。午前中
おお ひと い かいてん はや けいそん ひと たんどく はい
に多くの人を入れるので、回転はかなり速いです。頸損の人が単独で入れるよう
よくそう
な浴槽はありません。

〈クラブ活動〉

おセロ・カラオケ・音楽・園芸・俳句・編み物・書道・生け花などがあります。
わたし はい かく ふか けっこう
私はオセロとカラオケに入りました。オセロも、やってみると奥が深く、結構
おもしろいです。全国大会に出場する強い人も何人かいます。厚生寮ではオセロ
が盛んです。カラオケはレーザーディスクですが、曲目が少ないのが難点です。
とも かい にゅうしょしゃ じち そしき ねん いちど ぶんしゅう しゅつばん
友の会という入所者の自治組織もあり、年に一度「あゆみ」という文集を出版
しています。また友の会主催で、将棋大会・オセロ大会等があり、優勝楯や賞品
としてスーパーの商品券など貰えて良かったです。

〈友の会の組織〉

とも かい やくいん めい かいちょう ふくかいちょう しょき かいけい たんじょうかいがかり ぶっぴんがかり にんぎ
友の会は役員6名(会長・副会長・書記・会計・誕生会係・物品係)で、任期
ねん がつ よくねん がつ がつ せんぎょ こくじ めいれんめい どう
は1年です(4月から翌年3月まで)。1月に選挙の告示があり、2名連名で投
ひょう りっこうほしゃ ひょう おお じょうい めい どうせん てんりゅうこうせいかい じち
票します。立候補者のなかから票の多い上位6名が当選です。天竜厚生会で自治
そしき こうせいりょう
組織のあるのは厚生寮だけです。

いま とも かいひ ひとり つき えん ねん えん くる
今までは友の会費一人月200円(年2400円)でしたが、だんだん苦しくなり、
こんねんど みな りょうかい え ひとり つき えん ねん えん
今年度から皆の了解を得て一人月250円(年3000円)にしてもらいました。

とも かい ねんかんぎょうじなど
〈友の会の年間行事等〉

がつ とも かいそうかい みな しょくどう あつ よさんほうこくどう
4月 友の会総会 (皆を食堂に集めて予算報告等)

がつ はは ひ りょうぼ かんごふ、 じむ いん など えんぐらい まねんひんぞうてい
5月 母の日 (寮母・看護婦・事務員さん等に800円位の記念品贈呈)

がつ がつ りょうない たいかい にん くみ きょうぎ いっしゅ い しょうじょう しょうひんけん
6月 グリーンボウル大会 (4人1組の競技の一種。4位まで賞状と商品券)

がつ りょうない たいかい りょうせい しょくいんさんか い しょうじょう しょうひんけん
8月 寮内オセロ大会 (寮生・職員参加。4位まで賞状と商品券)

がつ しょうぎたいかい こうせいりょう せいふうりょう もちまりょう さんか い たて しょうじょう
9月 将棋大会 (厚生寮・清風寮・百々山寮、参加。4位まで楯と賞状)

がつ かい
12月 クリスマス会

がつ とも かいせんぎょ
1月 友の会選挙

がつ たいかい
2月 グリーンボウル大会

まいつき かい たんじょうかい とも かい ひとり えん きぼう しな おく
※毎月1回、誕生会 (友の会より1人1000円の希望する品を贈る)

ねん ど がいぶ ひと まね りょくいん たいかい
※2年に1度、外部からの人を招いて緑蔭オセロ大会。

ねんかんぎょうじ とし じゃっかんへんこう
※年間行事は年によって若干変更あり。

まいつき ど りょうちょう しょくいん かんごふ りょうぼちょう まじ とも かいやくいん はな あ あ
※毎月1度、寮長・職員・看護婦・寮母長を交えて友の会役員との話し合い有り。

おも しょくいん れんらく じこう らいげつ ぎょじ どう れんらく とも かい ようぼうどう
主に職員からの連絡事項と、来月の行事等の連絡。友の会からの要望等。

た ぎょうじかんけい
〈その他の行事関係〉

ぎょうじ おも あ
行事もたくさんあります。主なものを挙げると、

のうりょうさい こ りょうぼ へた ねんめ うわき うた
○納涼祭 (懲りずに寮母さんと、下手な「3年目の浮気」を唱った)

はなび たいかい はなび し き せいだい
○花火大会 (花火師が来て、けっこう盛大だった)

こうせいりょう ぼごしゃ かい
○厚生寮フェスティバル (保護者会のようなもの)

こうせいかいまつり こうせいかいぜんたい ぶんか さい
○厚生会祭 (厚生会全体でやる文化祭のようなもの)

かい
○クリスマス会

うんどうかい どう すく しょうひんけん
○運動会 (1~3等まで、少ないけどスーパーの商品券をくれた)

しんねんかい
○新年会

○バス行楽 (バスに乗っているだけ)

○春期行楽

○社会活動 (行けるのは一人/年1回だけ)

○一泊旅行 (数年に1度、番が回ってくる)

小さい行事だと、母の日・父の日・花祭り・お月見会・豆まき・彼岸供養祭・ひな祭・餅つき等があります。

〈訓練〉

決まった時間帯はありませんが、いちおう訓練室はあり、マッサージ師のかたが2名いて希望すれば手足を動かしてもらうことができます。力が落ちないように、晴れた日には厚生寮と隣の百々山寮(老人ホーム)のまわりの外周道路を回っています。一周が約400メートルなので3周を目安にして回るようにしています。

スポーツ訓練も毎週月曜にありますが、娯楽的要素の強いものです。運動会前に練習する他は、主にボーリングを集会室で行います。手の利かない人は、筒を使って玉をころがします。

天竜厚生会内は広くて、急な坂も多いので、手の利かない人が車椅子ですべて移動するのは難しいです。その為、電動車椅子の講習会もあり、何回か出席してフリーの許可がおりれば、自由に乗ることができます。職員と一緒に、電動で、近くの浜北森林公園までツーリングに行くこともあるそうです。

〈生活〉

起床は5時30分、消灯は10時です。

朝、体位交換時にギャジベッドで起きる人もいますが、私は横向きで朝食をとる為、体位交換の後はまた寝てしまいます。朝が早いのは苦手です。

くるまいす いどう かいじょ いどう じかん
車椅子への移動は介助ですが、ベッドへの移動は、時間がかかりますが、なん
と自分で上がっています。入所時に、自分に合うように、ベッドの型や高さ、
さく こうせいりょう ちょうせい たす
柵などを、厚生寮のほうで調整してくれたので、助かりました。

きょしつ にん べや ふたり べや すこ かく へや たい せっち
居室は4人部屋です。2人部屋も少しあります。テレビは各部屋2台設置され
ています。冷暖房は付いていますが、各自に扇風機が取り付けられているため、
れいか ことし ことた
冷夏の今年はそれで事足りました。

せんたく た いま じぶん
洗濯はクリーニングセンターへすべて出してくれるため、今は自分でしていま
せん。いちぶ て き ひと せんたくば にそうしき せんたくき つか
一部、手の利く人が、洗濯場で、二槽式の洗濯機を使ってやっています。
さんぱつ りょうない りはつしつ に かげつ ど りょうきん
散髪は、寮内に理髪室があるため、二ヶ月に1度ほどかかっています。料金の
はんぶん こうせいりょう ぶたん
半分は厚生寮で負担してくれます。

さいしょ こうしゅうでんわ じゅわ き ふべん
最初、公衆電話には受話器にフックがありませんでした。それでは不便なので、
じむしつ しどういん そうだん と つ ところ きょうりょく
事務室の指導員に相談したら、すぐに取り付けてくれました。そういう所は協力
てき たす
的で助かります。

わたし しょうがいしゃ えいが かん えいが み かんたん でき ため こうせい
私たち障害者は映画館で映画を観ることは簡単には出来ません。その為、厚生
りょう きすうげつ しゅうかいしつ えいが じょうえい おお み
寮では奇数月に集会室で、映画の上映をしてくれます。大きなスクリーンで観る
えいが はくりょく おもしろ ぜんかい いたみじゅうぞうかんとく たいびょうじん
映画は迫力があって面白いです。(ちなみに前は伊丹十三監督の「大病人」)

か もの かん こうせいりょう むねつづ
買い物に関しては、ちょうど厚生寮と棟続きにスーパーマーケットがあるので
あめ ひ い べんり てんいん てんりゅうこうせいかい しょくいん とう
雨の日でも行けるので便利なのですが、店員が天竜厚生会の職員のため、土曜・
にちよう やす なんてん いるい お
日曜が休みになるのが難点です。スーパーには衣類も置いてあるのですが、ブラ
ンド品が多くて、ちょっと高いです。もっと安いものも置いてもらいたいです。
たの ざっし シーディーなど と よ
頼めば雑誌やCD等も取り寄せてくれます。

しはらい せんよう つか こうせいりょう じ
支払はスーパー専用のカードを使います。なぜなら厚生寮では、いろいろな事

情があつて現金が所持できなかつたからです。でも最近、一ヶ月に1万円程度なら、希望すれば、事務室に頼んで自分の銀行口座から下ろしてもらい、所持できるようにになりました。私はカードの方が便利なので、そのまま使っています。

外泊や外出は許可を受ければ自由に出来ます。自宅から近くなり、妹や母が顔を出してくれる機会が多くなったので、車でたまに外出しています。何回か車椅子バスケットや静岡岡頭損連絡会の行事に出席しました。また、夏休みと正月には外泊するよう勧めているので、外泊が可能な人はします。

飲酒に関しては、許可を受ければ、飲酒会に入って週3回(月・水・金)に飲むことが出来ます。好きな人たちが集まって楽しくやっています。

内職も、希望すれば事務室のほうで斡旋してくれます。

パソコンを思い切って購入しました。部屋には置けないので学習室に置かせてもらっています。ワープロ専用機も3台ほど置いてあり、使っている人がいます。

パソコンはNECの98マルチCe-S2、プリンタはキャノンのBJ-220 JCで、どちらもコンパクトで使いやすいです。パソコンは何かと便利なので、私にとっては今では必需品になっています。

〈最後に〉

1993年4月29日に、訓練施設である伊東重度障害者センターを退所し、5月6日に厚生寮に入所しました。

入所して一週間ほど過ぎた頃に突然、軽い右顔面神経マヒにかかりました。右半面がうまく動かず、一時はどうなるのかと心配しましたが、内科で受診し薬をもらって飲んでいっているうちに一ヶ月程で何とか治りました。環境が変わって、知らず知らず気を使ひすぎたためでしょうか。今まで一度もなかつたので不思議です。

また、9月に、右の座骨に床ズレができ、2週間ほど寝て、慎重に治しました。
長い間、床ズレはできていなかったのに、油断したのがいけなかったようです。
健康に関しては、常に自己管理を怠るなどという教訓として受けとめています。

話は変わりますが、伊東重度在所中の4月の中旬ごろ、指導課で、天竜厚生会の
方へ入所できるという連絡が来たと言われた時は、あまりにも突然で、びっくり
しました。こんなに早く連絡が来るとは思ってもいなかったからです。

その時点で、伊東重度に入所して2年10ヶ月近くがたっていました。もう
一年程は訓練を続けたかったのが正直言って本音です。しかし入所した時に3年
を目安に、長くて5年と言われていましたし、断ったら今度はいつになるか判り
ませんから、しばらく考えてから承諾しました。

退所式や見送りの時は、いつも他人事だと思っていた事が、いざ自分の番とな
った時、複雑な気持ちでした。嬉しくもあり、不安でもあり、心残りでもありと。

厚生寮に入所した時、まず苦労したのは、生活に必要な尿収器の説明でした。
ここでは、それを使っている人はなく、寮母さんに最初から組立方や付け方など
を、その都度に説明せねばならず、大変でした。失敗も何度かありましたが、今
では何とか慣れてくれました。

ここにいる頸損の人は年輩の人が多く、乗車時間も短いのです。それに車椅子に
乗る時には紙オムツで、他は膀胱ろうの人しかいません。長く乗っているには、
尿を自分で捨てたりしなくてはなりません。ですから、どうしても尿収器が必要
なので、これだけは寮母さんに早く慣れて貰いたかったです。

伊東重度での訓練や生活用品、自助具等は、厚生寮に来て役も役に立っています。
例えば、横シート、梯子紐や、足上げ紐、尿収器や、穴開きパンツや、バケツ、
口ホクッション、プッシュアップ台など、そのまま、こちらでも使用しています。

また、皆に共通の問題である、施設に行くか家庭復帰かは、難しい問題です。これは個人の性格や考え方、家庭の事情によって、みな違いますから。ただ、私の考え方では、家に帰って閉じ込められるくらいなら、施設の方が良いのではないかと思います。

確かに施設は、起床・消灯・食事などの時間は決まっています。集団生活ですから、その規律を乱すことは出来ません。プライバシーも、家庭ほど守ることは出来ないでしょう（ただ、最近では個室のある施設も多くなってきたようですが）。逆に考えれば、規則正しい生活ができますし、いろいろな人との出会いもあります。いろいろな行事も、生活に変化を与えてくれます。自分自身でやりたいこと（趣味でも勉強でも何でも）を見つけて生活していけば、決して暇で単調な日々を過ごすばかりではないと思うのです。

でも、家庭で自由に外出できる環境にあり、有意義な生活を送ることが出来るなら、家庭復帰が最良の方法であるに違いありませんが。

施設と言うと、何か暗いイメージがありますが、最近では、そうばかりでもないと思います。厚生寮に長く生活している人に聞いてみても、昔に比べると、いろいろな面で改善されてきていると言っていました。ただ、私が他の施設すべてを見て回った訳ではないので、一概には言えませんが。

中には、比較的自由的な所から、厳しい所まで、いろいろあるようです。施設を希望されている方は、一度、自分の行かれる所の内容を確かめておく方がいいと思います。一旦、施設に入所されると、施設間の移動は難しいと聞いています。

以上、いろいろと書いてきましたが、少しでも参考になったでしょうか？

「春の権利擁護合宿開かれる」 おだ いっせき 小田一石

さ がつ にち りょうじつ わた ぜんこくしょうがいもんだいじんけんべんごたんしゅさい がっしゅく
去る4月23・24日の両日に渡り、全国障害問題人権弁護団主催の合宿が、
おうじ しょうがいしゃそうごう とりつ きたようごがっこう たいいくかん かいじょう おこな
王子の障害者総合スポーツセンターと、都立北養護学校体育館を会場に、行われ
ました。参加者は約80人と、思っていたよりも多い感じを受けました。

とく いんしょうてき りょうご じんけんしんがい はつげん
特に印象的だったのは、「療護は人権侵害のデパートである」といった発言や、
じんけん まち しせつ な けつろんづ おお
「人権を守るには施設を無くすしかない」と結論付けるパネラーも多くいたこと
です。パネラーの中には施設職員や管理者もいたのですが、聞いている私の方
で、どう反応したらよいか判らないという発言が、数多く出されました。

ぜんたい ほうこく ほとんどうがカタカナで行われるというもので、いまさら
全体として、報告のほとんどがカタカナで行われるというもので、今更ながら
にほん けんり いしき きはく つうかん
日本の権利意識の希薄さを痛感させられました。

さんか すこ ざんねん おも しせつしゅくいん さんか りょうしゃ さんか
参加して少し残念に思ったのは、施設職員の参加はあったものの利用者の参加
わたしひとり たし りょうご じんけんしんがい
は私一人であったということです。確かに療護は「人権侵害のデパート」あるい
は「博物館」かも知れませんが、侵害されている当事者の口からその実態を報告
していかないと、療護は人権の「墓場」になってしまうのではないのでしょうか。
こんご べんご だん じんけんようご かつどう きたい とも わたしたち せっきよく
今後の弁護団と、人権擁護ネットワークの活動に期待すると共に、私達も積極
てき かが ひつよう
的に関わっていく必要があるでしょう。

主なスケジュール

にち ど ごご まちょうほうこく
23日(土)午後 ◎基調報告

エーディーエー われわれ なに まな ジル じょうにん いん さいどう あきこ
「ADAから我々は何を学ぶべきか？」 JIL常任委員 齊藤明子

さんこう けんり ようご うご ちいませいけつじょうほう かわうちよしひこ
「サンフランシスコ近郊における権利擁護の動きについて」 地域生活情報センター川内美彦

かながわけん ちてきしょうがいしゃあいごきょうかい じんけんそんちょう と く
「神奈川県知的障害者愛護協会の人権尊重への取り組み」

しゃ しせつちょう さえき みちお
みらい社施設長 佐伯道夫

かそ しせつ こころ うちかたりょうごえん かいごぶ しゅにん おおた まさひと
「過疎の施設のささやかな試み」 内湯療護園介護部主任 太田正仁

じりつせいかつ けんり ようご
「自立生活センターと権利擁護」

きょうかいじむぎょくちょう なかにししょうじ
ヒューマンケア協会事務局長 中西正司

えいこく にほん にゅうしょしせつ
「英国・カナダ・ポーランドと日本の入所施設」

たまこうせいえん しょくいん うちだ しげお
多摩更生園職員 内田茂男

とうろん かいじょうはつげん しつぎ おうどう
◎討論・会場発言・質疑応答

ゆうしょくご かつ
夕食後 ◎スライドと語り

お い とお せいめい かやや しゃしんか たなべじゅんいち
「老いを生きる」 - レンズを通して見た生命の輝き - 写真家 田邊順一

か にち ごぜん きちようほうこく
24日(日)午前 ◎基調報告

「“ピープルファースト”に出会う」 飯田女子短期大学 石毛鏡子

「スウェーデンのしゅうがい者運動と入所施設改革」 四国学院大学 河東田 博

「米国の老人ホーム・オブ・スマン制度に学ぶ」 四国学院大学 宮崎昭夫

ほうせいめん もんだいてん かたい しゃかい りようしゃ けんり つく
「法制面からみた問題点と課題 - “社会サービス利用者の権利”を作りだすため -」

ご とうろん かいじょうはつげん しつぎ おうどう
午後 ◎シンポジウム・討論・会場発言・質疑応答

きゅうしゅうだいがく かわの まさてる
九州大学 河野正輝

ぜんりょうきょう について知ろう (その4)

ことし がつ ぜんりょうきょう だい じりょうごしせつ きのう せいど かたどう き
今年の3月に、全療協の“第1次療護施設の機能・制度のあり方等基

ほんもんだいけんとう いんかい ほうこくしょ だ ないよう
本問題検討委員会”から40ページの報告書が出されました。内容は、

だい しょう りょうごしせつ つか もんだいてん ぜんぱんてき はあく
◎第1章 療護施設の抱えている問題点の全般的把握

だい しょう じょうきょうちようさ けつか りょうごしせつ もんだいてん
◎第2章 状況調査の結果からみた療護施設の問題点

だい しょう りょうごしせつ いるりようてき どうこう
◎第3章 療護施設における医療的ケアの動向

だい しょう にゅうしょしゃ たちば りょうごしせつ かんが
◎第4章 入所者の立場から療護施設を考える

だい しょう
◎第5章 まとめ

こうせい よ おく ひの
という構成になっています。読みたい方はコピーをお送りします。日野

りょうごえん じちかい とくぎ れんらくくだ
療護園自治会の徳木までご連絡下さい。

ぜんこくりょうごしせつせいかつちようさいいんかい
全国療護施設生活調査委員会より

☆ 1993年度 活動報告

- '93年 7月 施設長アンケート実施
 8月 施設長アンケート集計報告作成
 12月 《施設調査から人権ガイドラインを展望する》12・11集会開催
 '94年 1月～ 「施設居住者のセルフ・アセスメント」に関する年次報告書」作成準備
 3月 ソニー株式会社に助成金申請

☆ 1992年10月～1994年3月の会計報告

第1期 1992年10月～1993年5月

収入 (カンパ)	214,249円	支出 (切手代)	214,249円
差し引き残高	0円		

第2期 1993年6月 (調査委員会正式発足) ～1994年3月

収入 (パンフ売上)	32,160円	支出 (通信費)	166,478円
(カンパ)	11,000円	(事務用品費)	29,477円
借入金	700,000円	(パンフ印刷費)	340,618円
収入計	743,160円	(人件費)	186,360円
差し引き残高	20,227円	支出計	722,933円

☆ 1994年度 活動計画

- '94年 5月～ 利用者・施設長アンケート集計結果の分析のまとめ及び
 「施設居住者の人権ガイドライン」素案作成開始

- 9月 ^{がつ} ^{だい} ^{かい} ^{しせつちようさ} ^{じんけん} ^{てんぼう} ^{かいさい}
 第2回《施設調査から人権ガイドラインを展望する》シンポジウム開催
 10月～ ^{がつ} ^{しせつきよじゅうしゃ} ^{かん} ^{ねんじ} ^{ほうこくしょ} ^{へんしゅう}
 「施設居住者のセルフ・アドボカシーに関する年次報告書」編集
 11月 ^{がつ} ^{どうじょうはっこう} ^{じんけん} ^{かん} ^{じっし}
 同上発行および人権ガイドラインに関するアンケート実施
 12月 ^{がつ} ^{じんけん} ^{かん} ^{しゅうやく}
 「人権ガイドラインに関するアンケート」の集約
 '95年 2月 ^{ねん} ^{がつ} ^{じんけん} ^{けんり} ^{ようご} ^{かいさい}
 「人権ガイドラインと権利擁護システム」シンポジウム開催

※ ^{こんねんど} ^{かつどう} ^{しきん} ^{かぶ} ^{まんえん} ^{じよせいざん} ^{いただ}
 今年度の活動資金については、ソニー(株)より、200万円の助成金を頂ける
^{ぜんねんど} ^{しゃくにゅうぎん} ^{へんさい} ^{まんえん} ^あ
 ことになりました。しかし、前年度の借入金の返済に70万円を充てるため、
^{のこ} ^{まんえん}
 残り130万円となります。

^{ぶんせき} ^{じんけん} ^{そあん} ^{ほうこくしょ} ^{さくせい}
 アンケートの分析や、人権ガイドライン素案などをまとめた報告書の作成に
^{いんさつひ} ^{ゆうそうりよう} ^{まんえんていど} ^{おも} ^{ふそくぶん}
 あたって、印刷費と郵送料だけでも200万円程度かかると思われ、不足分に
^{あら} ^{じよせいざん} ^{しんせい} ^{ようせい} ^{つづ}
 ついては、新たな助成金の申請とともに、カンパの要請を続けていかなければ
 なりません。

^{ことし} ^{ほうこくしょ} ^{だい} ^{ごう} ^{らいねん} ^{いこう} ^{いんかいかつどう} ^{つづ} ^{ねんじ} ^{ほうこく}
 また、今年の報告書を第1号に、来年以降も、委員会活動を続けて年次報告
^だ ^{ため} ^{じむきょくたいせい} ^{きょうか} ^{おお} ^{かだい} ^{かか}
 を出していく為には、事務局体制の強化をはじめ、多くの課題を抱えています。

^{にっぽん} ^{ました} ^{あつ}
 日本の真下は暑かった ～オーストラリア・レポート②～

^{ナンバー} ^{つづ} ^{きよせ} ^{りょうごえん} ^{おだ} ^{いっせき}
 (『ニュース』No.3の10ページに続く) 清瀬療護園・小田一石

^{わたし} ^{かえ} ^{ころ} ^{さぎょう} ^い ^{なま} ^{かえ}
 私たちが帰る頃になると、よそに作業に行っていた仲間たちがポツポツ帰って
^き ^{はじめ} ^て ^{いた} ^{マロイ} ^{ロードン} ^も ^{ふだん} ^は ^{交通} ^の ^{アクセス} ^の ^{改善} ^や ^小 [・]
^{ちゅうがくせい} ^{ふくしきょういく} ^{しごと} ^で ^{ほとん} ^ど ^出 ^か ^{けて} ^い ^る ^ら ^{しい} ^{この} ^日 ^は ^私 ^{たち}
 中学生への福祉教育の仕事で、ほとんど出かけているらしい。この日は、私たち
^{ため} ^{しごと} ^{やす} ^ま ^{たの} ^{じかん}
 の為に仕事を休んで待っていてくれたとのこと。おかげで、とても楽しい時間を

す
過ごすことができた。

つぎ
次に、ロイヤル・リハビリテーションセンターの在宅支援サービスを受けなが
ら長年一人暮らしをしているレス・ヒューム(Les Hume)という中年男性の家と、
かれ せいけつ
彼の生活をレポートしたい。

かれ いえ
彼の家は、グループホームから15分位、シドニーの中心地から車で45分位
はな ところ じゅうたくがい なか
離れた所の住宅街の中にあつた。オーストラリアの家屋はほとんど平屋で、彼の
いえ どうぜん ひらや いっこだて いえ おもて うら にわ にほん み うらや
家も当然、平屋。一戸建てで、家の表と裏に庭があるという、日本から見れば羨ま
しいような住宅だつた。彼の家は書斎とリビングとベッドルームと、車イスでも
じゅうぶんつか
十分使えるスペースのあるシャワールームがあつた。

かれ はなし
彼の話によれば、定期的に来る介護者は午前2時間と午後2時間、合計1日4
じかん
時間だけで、この経費は政府から払われる。「それ以外に必要な時は？」という
わたし しつもん たい
私の質問に対して、彼は電話を指し、「あれで呼ぶ」と答えた。

「その経費は？」という質問に対して、彼は「政府だよ」と答えた。つまり、
じぶん いちいち ひつよう じかん じかん
自分が一日のうちに必要な時間は4時間で、それを政府が保障する。それ以外に
ひつよう とき けいざいめん ほしょう ひつよう とき ひつよう ひと さが じぶん
必要な時も経済面では保障するが、必要な時に必要な人を探すのは自分でやれと
いうことらしい。

かれ い
彼も言っていた。「自分は、あまり家にいない。いたとしても24時間介護は
ひつよう
必要としない。だから、これで十分だ。ヘタに介護者がいるとトラブルのもとだ」。
たし とお いりようてき とくべつ たいちょう わる とき
確かにその通りだろう。よほど医療的に特別なケアがいるとか、体調の悪い時な
のを けいざいめん ほしょう ひつよう
どを除けば、介護者は24時間いる必要はないはずである。

しかし、日本で在宅生活を続けようとした時に、一番のネックが介護者の確保
ひつよう とき ひつよう かいごしゃ かくほ げんじつ ふまん すく
で、「必要な時」に必要な介護者が確保しにくいという現実からくる不満は、少

.....

なくないものがある。

けっか せんぞく かんご ふ き ひと じかん
結果として、専属の看護婦さんを決めて、その人と24時間とはいかないに
し
もうどういふ ひと きょうどうせいかつ おく ふあん
ても、相当程度、その人と共同生活を送らなければ、不安になってしまうだろう。
かり ひつよう とき かいご しゃ かくほ ひとりく
仮に必要な時に介護者が確保できるようなペースがあれば、もっと一人暮らしの
かのうせい ふ
可能性は増えてくるだろう。

あまり時間がなかったの、彼とじっくり話すことは出来なかったが、最後に
ひと さいたくせいかつ おく いちばん ふあん なん しつもん
一つだけ「在宅生活を送るうえで一番不安なことは何ですか？」という質問に、
かれ かいご しゃ びょうき じこ こ とき い
彼は、「介護者が病気や事故で来られなくなった時のことだ」と言っていた。

やはり、オーストラリアでも、在宅生活を送るうえで同じような悩みを持って
いるのかと少し安心し、しかしその悩みの度合いの違いに、やはり日本での在宅
せいかつ こんなん あらた かん
生活の困難さを改めて感じた。

ちが く に しょうがいしゃ せいかつ み にほん おく
このように違った国の障害者の生活を見てみると、「日本は遅れている！」と
さけ わたし げんじつ にほん く
叫びたくなる。だが、私たちは現実に、その日本で暮らしているし、そのなかで
せいかつ ひてい じじつ がいこく せいど
生活していかなければならないことは、否定できない事実である。外国の制度が
よ にほん てきおう
いかに良くても、それをそっくり日本に適應させることはできない。

しせい たと じぶん せいかつ なか なに たの せんたく ちから
であるならば、その姿勢（例えば、自分の生活の中で何を頼むかを選択する力
み でき さいたく かざ しせつ なか
など）を身につけることが出来るならば、在宅に限らず、施設の中でも、もっと
ゆうこう じかん かいごりょく つか かた
有効な時間と、介護力の使い方ができるのではないだろうか。

さいざんさけ しせつない じりつ さいたくせいかつ
それをやることにより、最近叫ばれている施設内自立や、あるいは在宅生活へ
ちようせん しせつ しゃかい しげんか さいたく しえん きょうか
の挑戦、さらには施設の社会資源化により、在宅支援サービスの強化につながり、
しん いみ す ところ く いっぽ ちか
真の意味でのノーマライゼーション（住みたい所に暮らす）に、一歩でも近づけ
るのではないだろうか。

人権擁護委員会設置に向けて

ぜんこく ふくしほいく ろうどうくみあい きよせりょうごえんぶんかい もとしよまぢょう たなか ゆうじ
全国福祉保育労働組合清瀬療護園分会 元書記長 田中 勇次

※ 清瀬療護園人権擁護委員会に関して、『ニュース』Na 2 (自治会から)と、
Na 3 (開設準備室長から)に続き、今回は職員組合からのコメントです。
園長の見解は次号になります。

先日、テレビで「クイーン」というドラマを観ました。このドラマは、昔話題
になった「ルーツ」や、最近スパイク・リーが監督をしてX印の帽子やTシャツ
等のグッズが街にあふれるほど流行った映画「マルコムX」の原作者アレックス
・ヘイリーの原作で、何でもアメリカで放映された時には大好評で、クリントン
大統領の演説を抑え、その週の視聴率第1位に輝いたという話です。

話の内容は、南北戦争時代のアメリカで、南部の農園主と黒人奴隷とのあいだ
に生まれ、「クイーン」と名付けられた女性の、受難の半生を描いた物語です。
白人と黒人の混血であるがために白人からも黒人からも受け入れられず、奴隷解
放された後でも、ありとあらゆる差別的・屈辱的な境遇の中、それでも彼女は人
を愛し、子供を産み育て、たくましく生き抜いていく、というものです。

とにかくまあ涙・涙で、時間の経つのを忘れて見入ってしまいました。御覧に
なった方も多いと思いますが、観てない方は再放送の時には(必ず再放送される
ように感じています)是非御覧になって下さいと、お薦めしたいとおもいます。

ところで私はこのドラマを観終わって、考え込んでしまいました。なぜこんな
に泣けたのか。「大草原の小さな家」を観ても泣いてしまうほど、涙腺の弱い私
ではありますが、それにしても、どうしてこんなに泣けるのか。ある種の感動が
あったに違いありません。では、その感動はどんな種類のものではあったのか。

ただその皮膚の色が違うというだけで人間扱いされない、偏見や差別に対する
憤り。そのいわれなき偏見や差別に、屈せず闘う、気高い魂への共感。そんな
ところかも知れません。

ところが、そのドラマを観た、まったく同じ私が、ちょうど同じ時代を白人の
農園の女主人の目から描いて、世界中で大ベストセラーとなった、マーガレット
・ミッチェル作の「風と共に去りぬ」を読んでも、大好きな女優が主演した同名

の映画を観ても、ビビアン・リー演じるスカーレット・オハラ、激しく逞しい生きざまに感動はしても、そこに描かれていた黒人奴隷たちには、ほとんど注意を払うことなしに過ぎていったのです。それが私の人権感覚なのでしょう。

おそらく、多くのアメリカ人も同じではないかと想像されます。クリントン大統領の演説を越える視聴率で、「クイーン」は、黒人だけでなく多くの白人にも観られ、その白人達も「クイーン」の苦悩に同情し、生きざまに感動して、涙を流したに違いありません。しかし日常では、その白人が、レストランや地下鉄で、黒人と同席するのを拒否しているのかもしれませんが。

この辺に私たちの抱えている人権問題の、解決の糸口があるのかもしれませんが。私たちはドラマを観る時、感情移入をして、そのドラマの主人公に同化し、自分がスーパーマンになったり、ウルトラマンになったり、クイーンになったりして、その虚構の世界に生きています。その主人公のシチュエーションの変化に、一喜一憂し、それこそわが身のごとく悩みます。

ところが、現実の日常生活では、私たちが取り巻く他者に対して、このような想像力は働きません。それには様々な理由が考えられます。政治的対立・経済的利害・虚栄心・優越感・劣等感・等々……、ここでは、他者に同化するどころか、異化してしまいます。

「クイーン」に対する共感を、そのまま、現実の身近な他者に見いだすことができれば、清瀬療護園に人権問題など、始めから存在しなかったでしょう。

そのことをつきつめて考えてゆくと、現代の競争社会を反映した、差別と選別の教育の歪みといった問題にメスを入れなければなりません。ここでは紙面の都合もありますので、これ以上立ち入りません。

ただ、これだけは言っておきたい。教育とは、競争社会を勝ち抜くために知識を詰め込むことではなく、人間が人間になることだ、と。動物が森の中でバツタリ他者に会ったとすると、目と目を見合わせ咄嗟に、相手が自分より強者か弱者か、つまり逃げるべきか食べるべきかを判断するといいます。

だが、人間はそうではない。人間は、その労働によって大脳を発達させ、言語を産み、「想像力=創造力」と「愛」を獲得しました。一見、人間的な「愛」のように見える動物の行動も良く観察すると、種の保存を至上命令とする、遺伝子

による本能のなせる技であるようです。人間だけが、他者の境遇や痛みや希いを「想像」し、他者を「愛」することができるのです。

福祉保育労清瀬療護園分会は、人権擁護委員会の設置に関して、全面的に賛成し、設置準備委員会にも委員を派遣して、一貫して協力してきました。

労働運動の歴史は、そのまま労働者の人権擁護の歴史でもあります。福祉保育労は、その結成から今日まで、施設利用者（子供・老人・心身障害者）の人権の擁護と、権利拡大の為に、利用者・居住者・父母と共闘してきました。

清瀬療護園分会でも、1991年、同法人の療護施設「しらゆりの家」で起こった、所長による居住者「いじめ」問題の際、居住者自治会と共闘して、被害者を清瀬療護園の静養室に緊急避難させた経験を持っています。

このように療護園分会と居住者自治会は共闘関係を堅持してきましたが、残念ながら、個々の居住者に対する人権問題はあとを絶ちません。

第3者による諮問機関である人権擁護委員会は、居住者の人権を守る為に、制度的に保障されて然るべきものと考えます。

しかし、私はもちろん、この人権擁護委員会が設置されたら療護園の人権問題が全て解決されるとは、思っていません。介護職員がお互いの仕事について、自由に相互批判できる、職場討議の場の確立が先決です。

1215年のマグナ・カルタに始まり、今や世界中のほとんど全ての国が成文憲法を持ち、その憲法のほとんど全てに人権宣言が含まれているそうです。

今日、全ての国の憲法で保障されている基本的人権は、日本国憲法第97条の言うように「人類の多年にわたる自由獲得の努力の成果」です。

ところが現実には、人権侵害の最たる戦争を始め、人種差別問題・幼児虐待など、人権問題にかかわるニュースが毎日のように新聞紙上をにぎわしています。

我々は介護職員である前に、人間として人間に近づく努力を、不断にして行かなければならないと思います。

そして、「クイーン」に共感するがごとく、身近な他者に共感できる想像力を養い、ひとりひとりの居住者の、境遇や、痛みや希いを、「想像」し「愛」することができれば、人権擁護委員会は自ら消滅するでしょう。

へん しゅう こう き
編集後記

にゅうばいまえ つか ま あおぞら つづ ごう ぜんごう はっこう まかん みじか
入梅前の、東の間の青空が続いています。4号は前号の発行より期間が短かつ
たので、内容の検討があまり充分でなかったように思えます。

「自治会ネット」準備会も、発足してから一年が過ぎようとしています。昨年
は、「何をやったらいいのかわからない」という中でのスタートでした。今でも同
じことが言えるかもしれませんが、一つだけ解ったことは、『続けることの大切
さ』だと思えます。今後ともみなさんのご希望を取り入れながら、発行してい
きたいと思えます。よろしくお願ひします。

ニュースの内容もそうですが、2年目を向かえた「自治会ネット」の活動につ
いても“一工夫”を加えたいと思っています。『アンケート』にご協力下さい。

『会計報告』は、2ページに載せた通りです。今年もよろしくお願ひします。
尚、郵便振替の口座番号が、00180-0-715838 に変わりました
ので、新しい用紙を使う場合は、新しい番号で記入するよう、ご注意下さい。

ねん がつ にち へんしゅう かいけいたんどう おだ いっせき
1994年5月31日 編集・会計担当 小田 一石

りょうご しせつ じちかい ぜんこく せつりつじゅんびかい なんばー
療護施設自治会全国ネットワーク設立準備会ニュース No.4

はっこうび ねん がつ か ねんかんこうどくりょう えん
発行日：1994年6月6日 年間購読料：1000円

はっこうしゃ りょうご しせつ じちかい ぜんこく せつりつじゅんびかい じむきょく
発行者：『療護施設自治会全国ネットワーク』設立準備会事務局

れんらくさき どうきょうと ひの し おちかわ どうきょうとひのりょうごえん にゅうきょしゃじちかいない
連絡先：〒191 東京都日野市落川245-1 東京都日野療護園 入居者自治会内

たいひょう
Tel.0425-93-2421 (代表) Fax.0425-93-0075

ゆうびんふりかえ きょう どうきょう りょうご しせつ じちかい ぜんこく
郵便振替(旧)：東京8-715838 『療護施設自治会全国ネットワーク』

しん
(新)：00180-0-715838 『 』